

2019年2月16-17日 八ヶ岳 真教寺尾根

参加メンバー：L 倉澤、SL 久保、高橋

赤岳東稜を視野に入れ、下見と経験を積む事を目的に真教寺尾根を登ってきた。

[1日目]

積雪もなくカラカラに乾いているので、美し森ロッジ(たかね荘)の駐車場を使う事が出来た。強風の予報通り、駐車場の時点で風が強い。また、まるで春のように気温が高すぎる。

賽の河原を過ぎるまで雪は薄付き、牛首山までは難なく辿り着く事が出来た。先行者は、テント泊装備の1名のみになり、牛首山に幕営して赤岳をピストンするそう。我々は予定通り、扇山にテントを幕営。樹林帯にいるにも関わらずここまで風が強い、テントをしっかりと木に括りつけた。特にラッセルも無く、扇山に到着してしまい、時間がまだまだ早い。赤岳をアタックすることにし、登攀道具を装備し出発。

2316mのピークを過ぎても、まだまだ幕営適地は沢山あった。森林限界を過ぎるあたりから積雪量が増す。膝下のラッセルとなり、先行者に追いつく。深い所では胸まで積雪がある。先行者にはだいぶラッセルしていただいていた。4名となり、代わる代わるラッセルしていく。下部の鎖場は、雪下となり上部に着くまで気づく事が出来なかった。途中、天狗尾根から単独の方とすれ違った。途中から鎖場はしっかり露出しており、ロープは出さずに済んだ。9合目を過ぎ、懸念していた赤岳沢のトラバースは、雪が少ないせいでむしろ竜頭峰へ直登は出来ない。夏道に沿って、トラバースを進んだ。縦走路から山頂までも岩場が続く、アイゼンを岩に引っかけないように気を付けた。天気が悪いせいなのか、少々時間が遅いせいなのか、山頂はとても静かだった。真教尾根からの下降も、鎖をしっかり握りロープを出さずに済んだ。今回は、十分に鎖が露出したいため、登りも下りもロープは出さなかったが、場合によっては懸垂の方が安全だろう。鎖場を過ぎたところで、アイゼンを外し、やや足がとられる深い雪の中を降り、順調に幕営地に戻ってくることが出来た。

[2日目]

4時起床。間違いなく晴天が予想される中、早々に下山。

[コースタイム]

■1日目

美し森ロッジ駐車場(6:30発) - 牛首山(9:20) - 扇山(9:40着幕営、10:30発) - 真教寺分岐(13:15) - 赤岳山頂(13:30) - 扇山(幕営地 15:40着)

■2日目

扇山(幕営地 5:50発) - 牛首山(6:00) - 美し森ロッジ駐車場(7:00着)



①ラッセルあり



②鎖場はしっかりと露出



③竜頭峰はすぐそこ



④赤岳山頂にて